



2025年3月24日

各 位

会 社 名 株式会社青山財産ネットワークス  
代表者名 代表取締役社長 蓮見 正純  
(コード番号 8929 東証スタンダード)  
問合せ先 コーポレートファイナンス本部  
財務部 部長 石川 精一  
(TEL 03-6439-5800)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状分析を行い、企業価値向上に向けた取組方針を決定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2025年3月24日

「100年後もあなたのベストパートナー」でありたい。

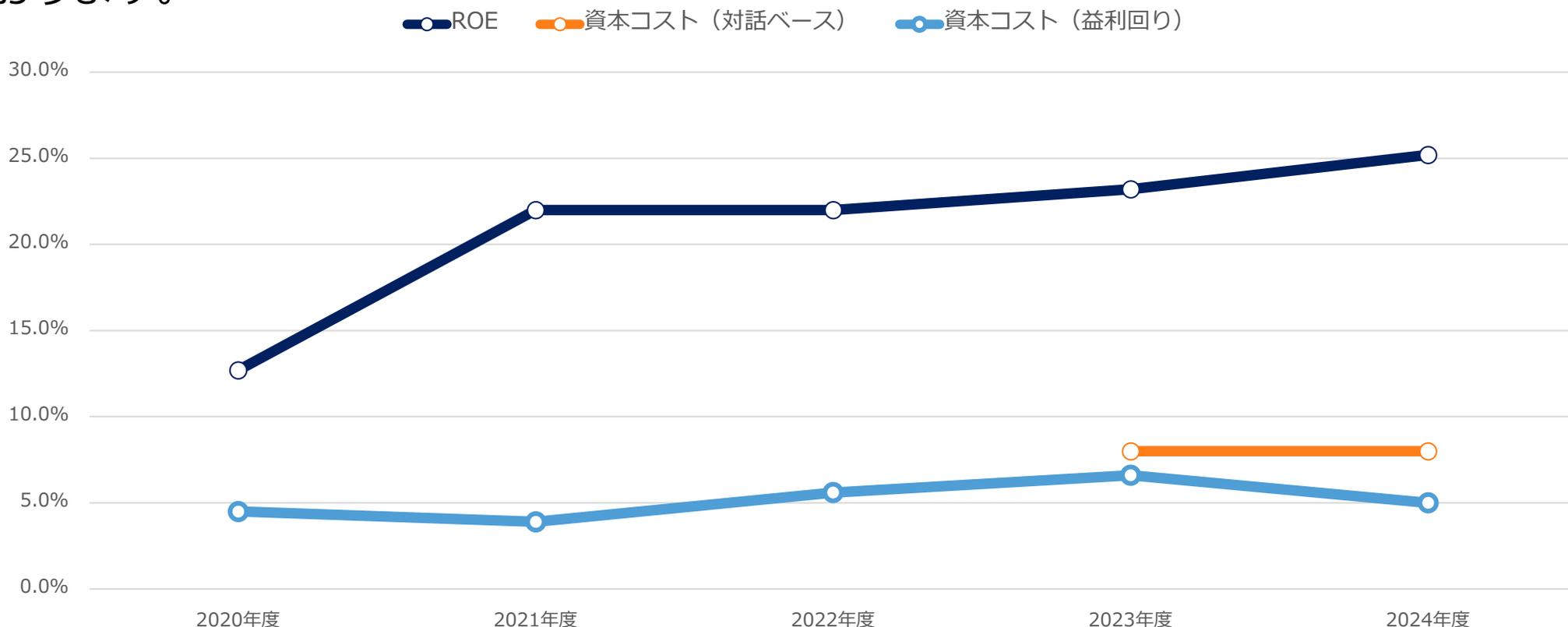
私たちは、「財産」と「未来」を守る総合財産コンサルティング会社です。



株式会社 青山財産ネットワークス  
Aoyama Zaisan Networks Company, Limited

# 現状認識（株主資本コストとROEの推移）

ROEについては2020年のコロナ禍を除き、安定的に20%超水準を維持しております。CAPM、益利回りなどにより株主資本コストを算定していますが、機関投資家との対話により想定される株主資本コストは8%と回答いただいていることから株主資本コストは8%と想定しております。過去5年においてROEは株主資本コストを大幅に上回っております。

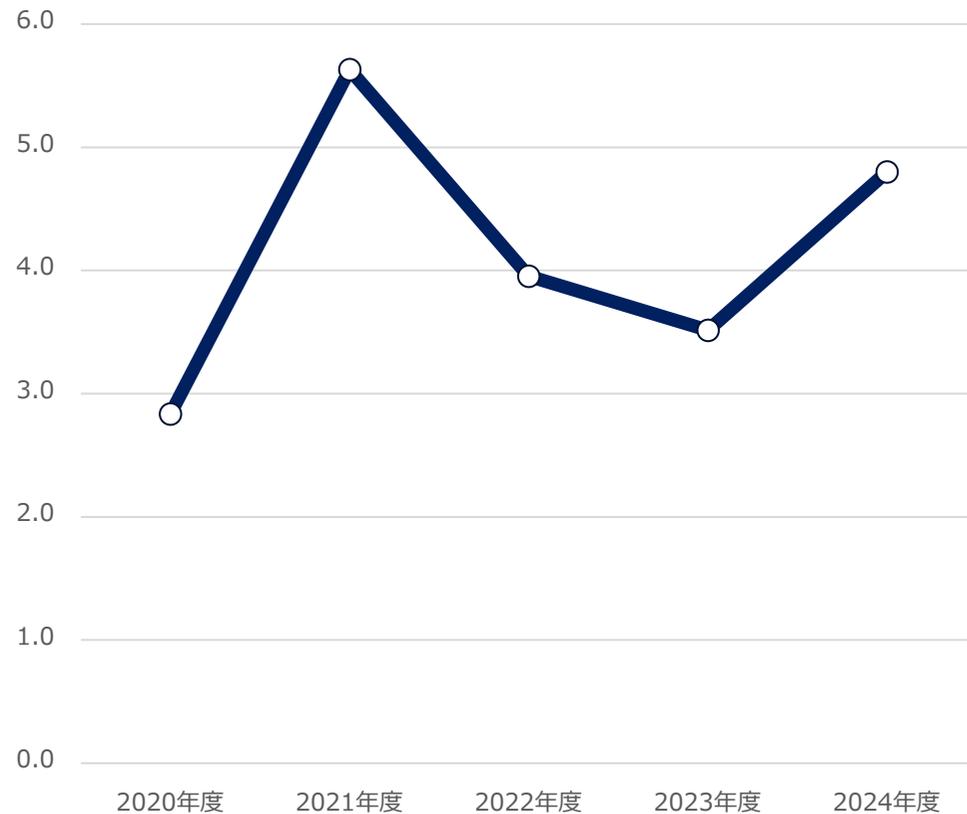


※2024年末におけるCAPMでの株主資本コストは5.6%~6.6%として算定しております。

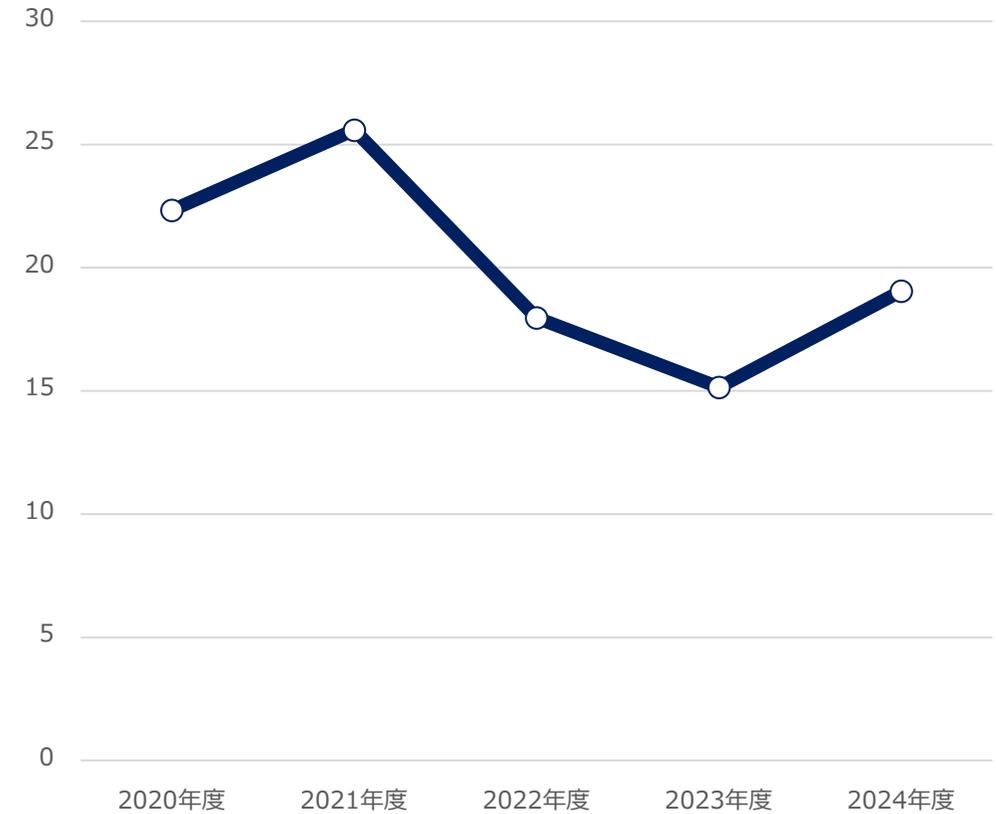
# 現状認識（PBRとPERの推移）

PBRは過去5年において、安定的に3倍から5倍の水準を維持しております。一方、PERについては24年に改善したものの、市場評価は十分でないと認識しておりますので、企業価値向上のためには更なるPERの改善を目指してまいります。

■ PBRの推移



■ PERの推移



※各年度末の数値を算出

# 企業価値向上に向けた取組み（ROE20%超の維持）

## ■ 売上高当期利益率

売上高に占める財産コンサルティング割合を高めることにより収益性の改善を図る。

## ■ 総資産回転率

不動産在庫を持たない方針を継続することにより効率性を維持。

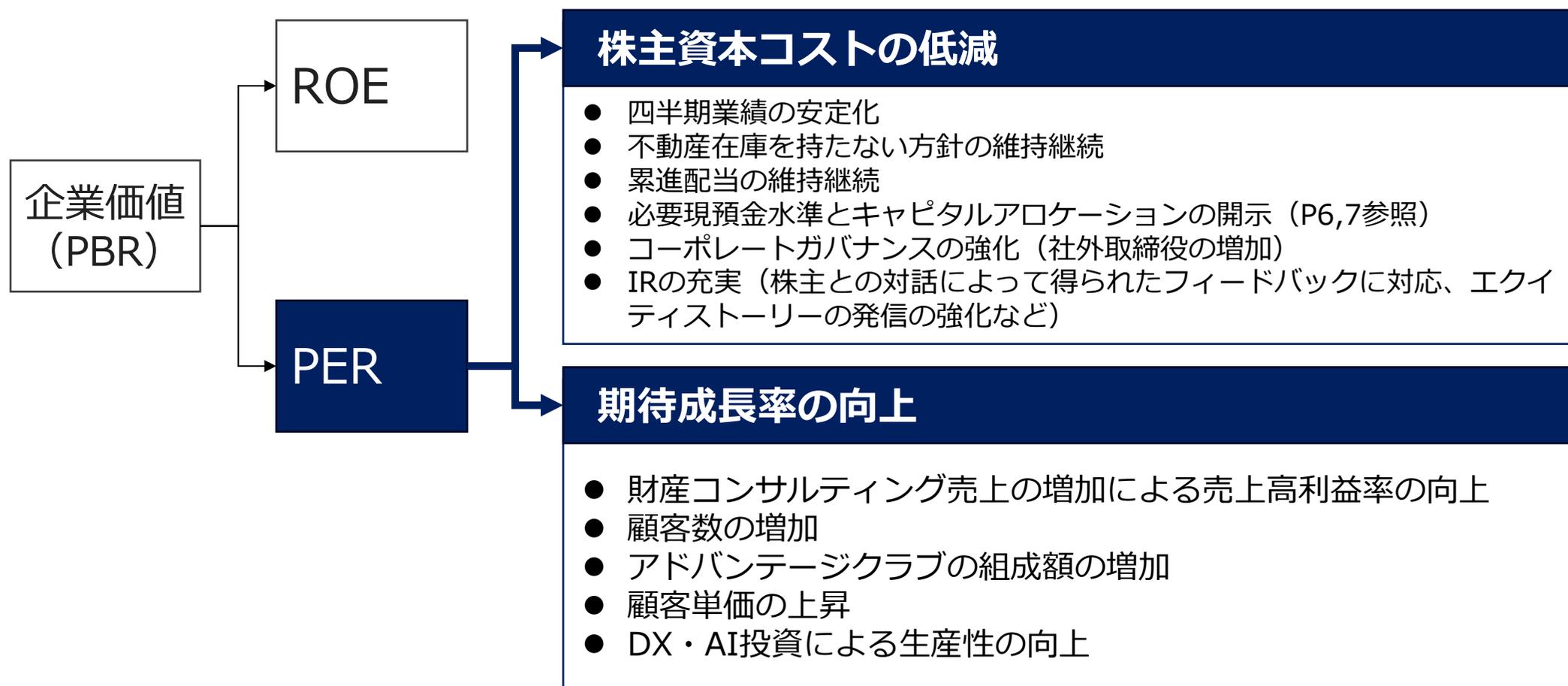
## ■ 財務レバレッジ

財務レバレッジは2倍から2.5倍程度とし、財務の健全性を維持しながら資本効率を高める。

	ROE		売上高 当期利益率		総資産 回転率		財務 レバレッジ
22年12月期	22.0%	=	4.7%	×	1.84回	×	2.55倍
23年12月期	23.2%	=	5.7%	×	1.60回	×	2.55倍
24年12月期	25.2%	=	5.3%	×	1.99回	×	2.38倍
27年12月期（イメージ）	20%～30%	=	5～6%程度	×	2.0回程度	×	2～2.5倍程度

# 企業価値向上に向けた取組み（PERの改善）

株主資本コストの低減および期待成長率の向上によりPERの改善を目指してまいります。



# 2024年度のIR実績と2025年度以降の活動について

## 1 2024年度

- 機関投資家向けのスモールミーティングを年2回開催
- 個人投資家向け説明会を4月に実施
- 年間約130件のIR面談を実施
- 5月に統合報告書を発刊

## 2 2025年度

- 機関投資家向けのスモールミーティングを年2回開催
- 個人投資家向け説明会を春と秋の2回実施予定
- 海外ロードショーについては、再度実施予定
- 新TOPIX銘柄への選定を目標とし、PERの改善により時価総額を引き上げる

前回の海外ロードショーにより海外機関投資家からの要望であった流通比率や、時価総額水準がクリアしつつあることから、新規の海外投資家との接点を大幅に増やす予定

## 3 2026年度以降

- 企業価値向上に向けた取り組みを励行し時価総額をあげることに、また、新たな機関投資家との接点を拡大することにより、2026年度以降は2025年の取り組みを加速させる予定。

# 資本政策（BS方針）

## 現預金水準 についての考え方

運転資金、不動産取得資金、AD敷金返還資金を常に保有。

## 販売用不動産 についての考え方

原則、不動産在庫を持たない方針。

### 【24年末あるべき必要現預金水準】

- ・ 運転資金：20億
  - ・ 不動産取得資金：98億
  - ・ AD敷金返還資金：30億円
- 合計：148億円

## 有利子負債・純資産 についての考え方

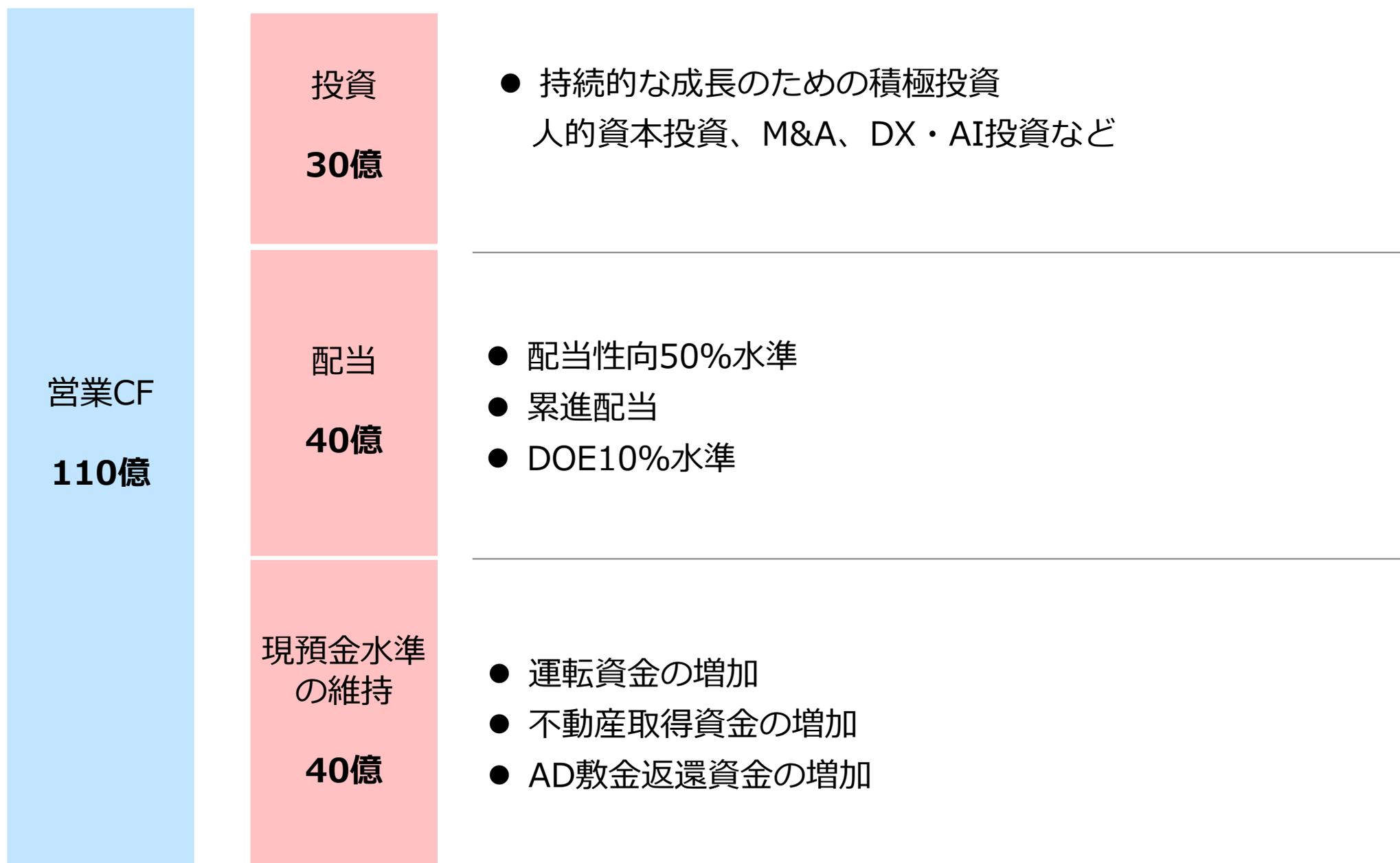
有利子負債を活用して必要な現預金水準を維持。投資は原則、純資産の範囲内で賄う。

### 総資産223億



2024年度末

# 資本政策（中期経営計画（2025～2027）期間における キャピタルアロケーション）



# 資本政策（株主還元方針）

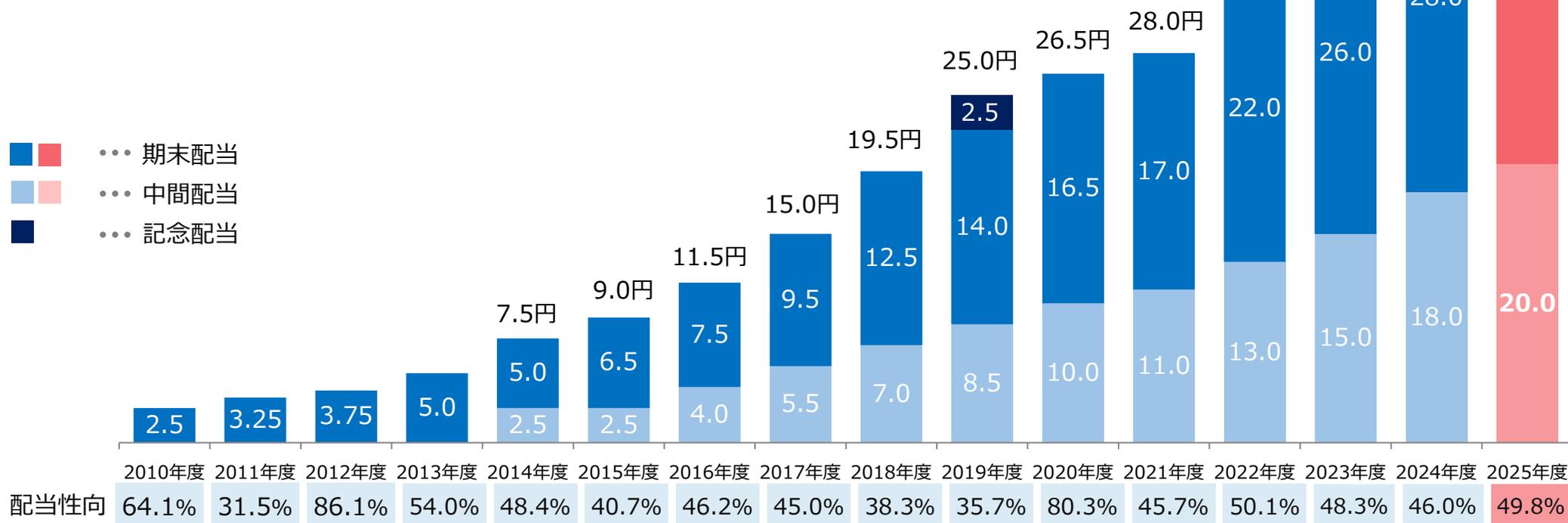
（単位：円）

**1** 配当性向50%水準

**2** 累進配当

**3** 株主資本コストを上回るDOE水準の維持

※なお、自己株式の取得については機動的に検討してまいります。



※2021年9月1日に株式分割（1株につき2株の割合をもって分割）を実施し、分割を考慮した配当金額に置き換えております。

当社のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.azn.co.jp>

株式会社青山財産ネットワークス

コーポレートファイナンス本部

TEL 03-6439-5824 FAX 03-6439-5851

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれからの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。